

**社民党**

# 渡辺みのる通信

● 第 25 号 ●

発行日 / 2013年(平成25)10月(9月議会号)  
 発行 / 渡辺みのる後援会  
 石川町大字北山形字引地1  
 電話&FAX 0247-26-6994  
 携帯 090-2798-0434



**写真説明** 金色の田、ススキのたなびく丘に連なる里山に、100万ボルトの送電線がドーンと建っています。福島第二原発の廃炉が決まらない中で、何を考えているのだろうか。私たちも鉄塔がある限り、原発とは何かと問い続けなければならない。

## 来年4月から消費税8%、格差拡大へ

朝夕が涼しくなり、稲穂も黄色く、稲刈りが始まりました。安倍総理は消費税8%を決定し、さらに、解雇自由特区の創設などを検討しています。

さらに、10月から電気料金や牛乳、豆腐、小麦粉、厚生年金保険料など値上げされます。

9月議会は9月5日～12日まで開催しました。平成24年度決算を認定、職員給与の削減は賛成多数で可決、子ども・子育て会議条例などは可決しました。

請願では社民党から出された「消費税率引き上げに反対する意見書提出」「TPP交渉から即時脱退と情報公開を求める意見書提出」「過労死防止基本法の制定を求める意見書提出」「集団的自衛権に関する憲法解釈変更反対する意見書提出」は採択し、国に意見書を提出しました。

## 栗拾いとアケビ取りを楽しむ

「栗拾い」ということばが死語になりつつあります。道路に栗の実が落ちていても、誰も拾う人はいません。車で無惨に踏みつぶされています。

小さい頃、大風や台風が去ると、鎌と麻袋を持って、栗拾いに出かけたものです。ひと朝で何升も拾うことができました。学校の帰りには、栗の皮をむき、生栗を口に頬張りました。

道路に栗の「いが」が落ちていたので、車を止め、夢中で栗を拾いました。30分ほどで1升ほど拾うことができ、芝栗をおいしくいただきました。アケビも道ばたの木々に口を開けて下がっています。



秋の味覚芝栗と紫アケビ

◆一般質問から◆

**渡辺：玉川村の放射性廃棄物仮置場の安全確保は  
町長：現地調査で確認、6月14日要請書を提出**

**渡辺** 水道水の放射能検査の状況は。

**町長** 週1回、水道の蛇口の浄水を検査。事故の3月21日と29日にヨウ素とセシウムが検出、それ以後はすべて不検出です。町ホームページで公開しています。

**渡辺** 今の検査を継続すべき、考えは。

**町長** 継続して実施します。

**渡辺** 千五沢ダムの放射能検査は。

**町長** 環境省と県で実施。水質と低質は2ヶ月に1回、湖水上層は月1回、下層は2ヶ月に1回実施。結果は水質はすべて不検出、低質は直近でセシウムが1740ベクレル検出しました。

**渡辺** 低質のセシウムが貯留水に混ざることとは。

**町長** 人為的、或いは多量増水などがなければ、普通では可能性が低いです。

**渡辺** 今回、ダムの改修工事が行われるが対応は。

**町長** 県と十分協議し、慎重に対応します。

**渡辺** 玉川村が青井沢地区に設置した放射性廃棄物仮置場の安全性は。



道ばたで見かける  
コセンダングサ

**町長** 現地調査を行い、安全に保管されていることを確認しています。特別措置法に基づき、施行されています。6月14日には町長から村長に要請書を出しています。

**渡辺** 町からの要請に対して、玉川の回答は。

**町長** 5項目すべて了承しました。

**渡辺** 仮置場は、約3年間であるが、3年、5年となった時、根本的な対応が必要となるので十分研究を。仮置場の検査結果は公表すべき。

**町長** 玉川村で公表するように働きかけます。

**渡辺** 町でも定期的に現地調査をするべきである。

**町長** 年1回程度、玉川村と協議します。



南向きの田の土手に  
咲いていたコシオガマ

**渡辺** **年金支給65歳、職員の再雇用を町長 必要な準備をする**

**渡辺** 町職員の年金支給が65歳になるのにあわせて再雇用制度を整備すべき、考えは。

**町長** 雇用と年金の接続に配慮し、準備をします。

**渡辺** 国は既に決めている。職員組合と十分協議し、活用できる再雇用制度を作って欲しい。

**これでいいの？ 子ども・子育て支援新制度………  
子どもの保育を受ける権利が危うい**



昨年8月、子ども・子育て関連3法が成立し、2015年4月から現在の保育制度は大きく変わり、新制度が導入されます。

この制度は、現在の保育制度(施設補助方式、自治体責任による入所・利用の仕組み)を介護保険法のように利用者補助方式(給付金)・直接契約方式(保護者の自己責任による利用方式)に変えます。給付金の用途制限をなくし、企業参入を促します。

さらに、教育及び保育の一元的施設総合子ども園を新設し、株式会社やNPO法人等運営できることになり、国はここに誘導しています。

子どもの保育義務の公的責任を放棄しようとしています。

問題点は、①保育所利用には、保育の必要性の外、必要量の認定を受ける必要があります。②認定により、長時間保育と短時間保育の子どもに区分、両者が同時に保育され、発達に応じた保育が困難になります。③保育所に支払われる委託費も長時間保育は高く、短時間は安くなるため、短時間保育の子どもが多い保育所は減収となります。④保護者も保育量を越えた保育時間は全額個人負担なので負担増となります。⑤そして、保育所整備の補助金が廃止され、保育所の新設、増設は望めない状況です。

昔から、子どもは社会・国の宝というが、なぜ、金儲けの道具にしてしまうのか。怒りを覚えます。



◆一般質問から◆

**渡辺：子どもの通学バス対策は**

**教育長：委託スクールバスで、9路線を検討**

- 渡辺** 通学バス対策は。
- 教育長** スクールバスを中心に運行し、PTAや保育所保護者会、統合準備会で協議しています。
- 渡辺** 朝夕大型バスが何台出入りするのかわ。
- 教育長** 8台で、朝1回、夕小学2回、中学1回です。
- 渡辺** 学校周辺は混雑する。通学路や歩道、駐車場整備、交通規制など総合的に検討すべき。
- 町長** 了解しました。
- 渡辺** 廃校の利活用の検討は。
- 教育長** 統合準備会で検討しています。
- 渡辺** 6校の利活用は、統合と並行して進めないといけない。地元との協議を早急に進めてほしい。新小学校の建築状況は。
- 教育長** 6月に基本設計は完成、平成26年3月までに工事に着手します。



太陽の光に花びらを大きく開くユウガギク

**新教育委員に藤島廣輝さん（湯郷度）**

新しい教育委員に、大字湯郷度字真滝の藤島廣輝が提案され、承認されました。

**町内の野菜等の放射能検査結果（抜粋）**

**8月・9月はすべて不検出**

検査日	品目	セシウム134	セシウム137
8月1日	ゴーヤ	不検出	不検出
6日	なす	〃	〃
〃	玉葱	〃	〃
〃	キュウリ	〃	〃
9日	オクラ	〃	〃
30日	カボチャ	〃	〃
9月2日	里芋	〃	〃
12日	サツマイモ	〃	〃
17日	大根	〃	〃
18日	ニラ	〃	〃
〃	モロヘイヤ	〃	〃
25日	春菊	〃	〃
8月	井戸水	不検出(10ベクレル未満)	

不検出の定量下限値は3.1~15.2の範囲です。(県・町のホームページより)



腫れ物の薬となったことからついた名ヤクシノウ

**渡辺 石川バイパスの早期開通はいつ町長 来年の一工区着工を要請する**

- 渡辺** 石川バイパスの早期開通は。
- 町長** 平成12年に着工。第一工区は未買収地の土地収用の手続きをしています。二工区は23年度から土地買収に入っています。一工区は来年には着工できるように県に要請します。

子どもの未来のために

**子どもの笑顔と平和への願いを重ね合わせて**

石川地区の小体連陸上競技大会が、鏡石町の鳥見山陸上競技場で行われました。小中学校音楽祭は、矢吹町の文化センターでした。毎年保護者の方々からは、「石川地区に施設があれば、遠くまで行かなくてもいいのに・・・」という声が聞かれます。確かに近くに競技場や文化センターがあれば、子どもたちに「生」の文化的な催しやスポーツに触れさせることができるでしょう。しかし、施設が揃っていればよいというわけではありません。

たとえば、石川町の歴史民俗資料館はどうでしょうか。日本三大鉱物資源の産地として有名な町の希元素鉱物を、お子さんと見に行ったことがあるでしょうか。自由民権発祥の地といわれていますが、それを子どもたちは知っているでしょうか。戦争に関連した話を、子どもたちは実際に聞いたことがあるでしょうか。平和について、お子さんと語り合ったことがあるでしょうか。

行事や催し物ばかりに気を取られていると、本当に大切な「平和な未来」や「安心して安全なくらし」「地域のすばらしさ」などを見落としてしまいがちです。

黄金色に染まる田んぼを通して実りの秋に喜びを感じたり、子どもの笑顔に平和への願いを重ねあわせたりできたらいいですね。(K, H)

## 高齢化率が高まり、介護認定者が増加 健康で長生きする支援サービス体制の充実を

町の高齢化率(65歳以上の人口比)が高まる中で、介護で支援を受ける人も、給付費も増大しています。健康で長生きする人生を送るために、町の現状を見ながらサービス、健康保持を考えて見て下さい。

＜高齢化率と介護認定者数の推移＞

	25年/人	17年/人	12年/人
65歳以上人口	5,016	4,788	4,462
高齢化率	29.7%	25.5%	22.4%
要支援1	75	66	56
要支援2	122	0	0
要介護1	121	180	106
要介護2	179	95	54
要介護3	146	88	59
要介護4	118	63	44
要介護5	171	122	70
合計	932	614	389

＜介護サービス給付費の推移＞ 単位百万円

	介護サービス給付費	介護予防給付費	合計
24年度	1,279	49	1,328
22年度	1,067	37	1,104
20年度	870	37	907
18年度	700	15	715

介護サービス給付費は居宅介護や施設介護等の介護費用で、平成24年度は1億円程度増加しています。

収量の少ない山間部では収益となるからです。今年も、昨年の米が余っていて、米の過剰で、60kg当たり2,000円以上昨年より安くなるようです。日本人が米を食べなくなったのが大きな原因ですが、世界は食糧危機で、餓死者も多く出ています。人口増と地球温暖化等で益々食糧不足となることを見れば、生産できるところで生産を維持し、不足国に支援することはできないのか。国の施策が問われています。



牛のエサに梱包した白いロールが並ぶ

### 様変わりした秋の田園風景 米過剰で、牛のエサに加工

数年前から、米の転作として、WCS(ホールクロップ)づくりが盛んになってきています。秋は稲の穂が垂れ、田一面に黄金色に色づきます。9月中旬には刈り取り、牛のエサとして180kgロールに梱包します。これを見ている高齢者は「情けない」と話します。石川地方では24年度は65ヘクタール、25年度もほぼ同程度が行われています。国の奨励金が10アール当たり8万円が出るため、

## TPPで国民の健康はどうなる 増え続けるホルモン依存性がんとの輸入牛肉の関係

ホルモン依存性がんとは、ある種のホルモンが発生や増殖に影響を与えるがんのことで、乳がん、子宮体がん、卵巣がん、前立腺がん、肺がん中肺線がんなどがある。例えば、乳がんの発生と増殖には、性ホルモンであるエストロゲンが重要な働きをするといわれている。そして、日本では4半世紀に乳がん4倍、卵巣がん4倍、子宮体がん8倍、前立腺がん10倍に増加している。その原因の一つと指摘されているのが、輸入牛肉である。アメリカ等では、肥育を早めるためホルモン剤を投与し、残留が疑われているからだ。2009年に発表された論文、北海道大学の「牛肉中のエストロゲン濃度とホルモン依存性がん発生増加関連」ではアメリカ産牛肉脂肪に国産の140倍、赤身に633倍のエストロゲン(17β-エストラジオール)が含まれており、「エストロゲン高濃度の牛肉摂取とホルモン依存性がん発生増加の関連性が考えられる」としている。EUは1989年、肥育ホルモン剤使用牛肉と牛肉製

品輸入を禁止した。日本は98年ホルモン剤の製造、輸入が中止された。輸入牛肉については科学的の合成された合成型3種だけは残留基準値がある。基準値を超えたものはないが、高濃度であることは厚労省も認めている。しかし、EUが永続的使用禁止を決めた17β-エストラジオール天然型(人や動物の体内に存在するホルモンを製造)は、日本では健康リスクを認めず、残留基準さえない。今、TPP交渉中であるが、国民の健康はどうなるのか。EUは国際的貿易交渉で、アメリカ相手に予防原則を貫き、人々の命と健康を売り渡しはしなかった。安倍政権にそれができるのか。(8月28日付社会新報)



▲朝露の中のキツリフネソウ